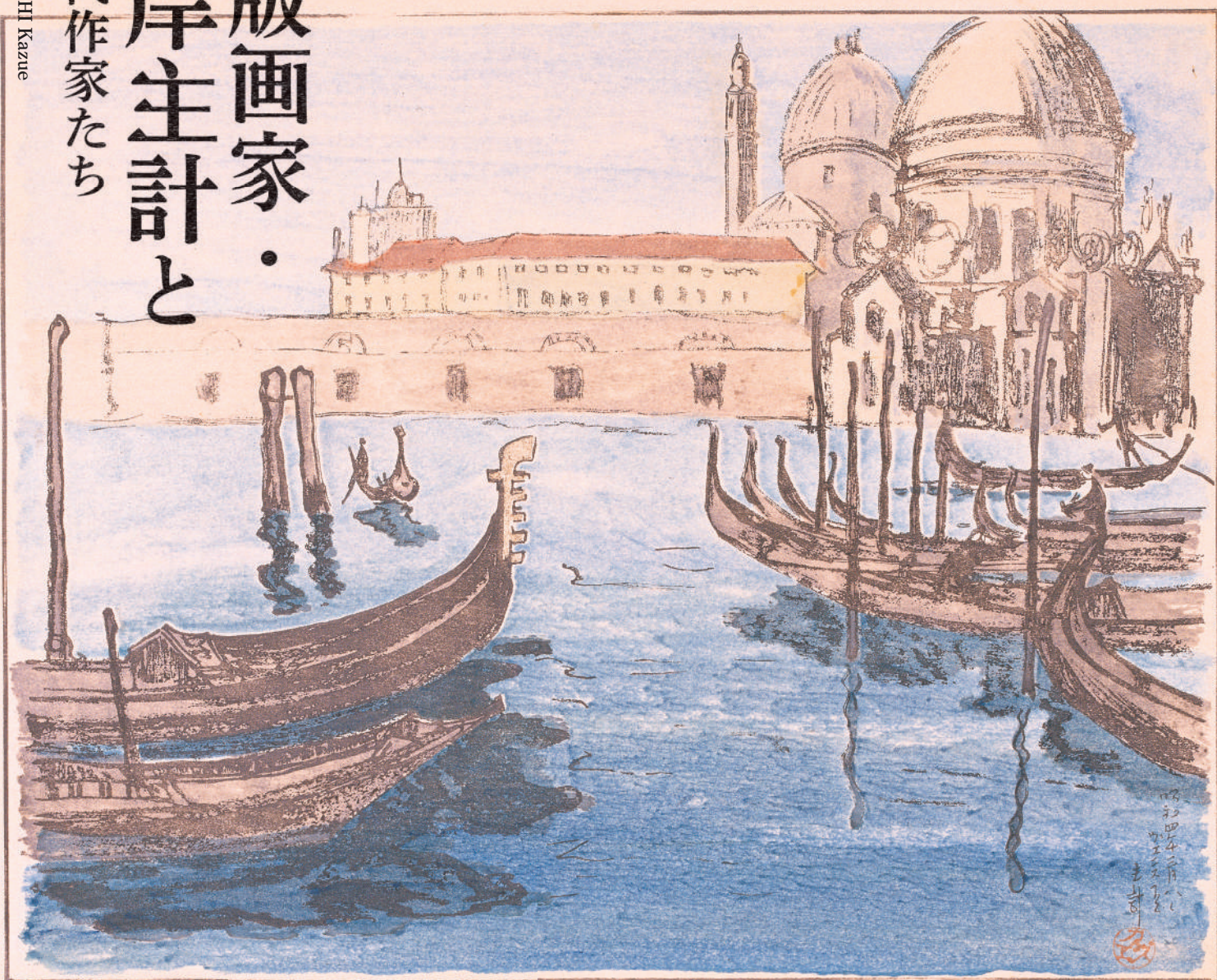


木版画家・ 山岸主計と 現代作家たち



2022年

6月18日(土)～

10:00～19:00

[入館は閉館の30分前まで]

8月28日(日)

前期 6月18日(土)～7月18日(月・祝)

後期 7月23日(土)～8月28日(日)

休館日 月曜日 [7月18日(月・祝)は開館]

7月19日(火)～22日(金)は展示替えのため休館

会場 藤沢市アートスペース

観覧料 無料

【主催】 藤沢市、藤沢市教育委員会

【後援】 神奈川新聞社、株式会社ジェイコム湘南・神奈川、レディオ湘南

【協力】 公益財団法人藤沢市みらい創造財団、一般財団法人藤沢市開発経営公社

上) 山岸主計《ヴェニスにて》1928-31年頃 右下) 山岸主計《街頭藝術》(部分) 1928-31年頃

伝えたい情景
伝えたい情景



UCHIDA Aki
内田亜里 / 田中唯子
TANAKA Aiko



田中唯子《海を見る／傍観する1》2019年



内田亜里《葬る山、齋く島》2020年

伝えたい情景

木版画家・山岸主計と現代作家たち

田中唯子

【TANAKA Aiko】

1991年東京都生まれ。神奈川県相模原市在住。女子美術大学大学院版画研究領域修了。2019年「Artists in FAS 2019入選アーティストによる成果発表展」に参加。報道写真や映像など既存のメディアから得られる情報を元に版を作り、鉄錆を紙や石膏に写し取って版画作品を制作する。メディアと個人の間に距離への違和感や、記憶が移ろうことを避けられない人間の危うさを感じながら制作を続けている。



内田亜里

【UCHIDA Ari】



1978年東京都生まれ。神奈川県三浦郡葉山町在住。2001年東京造形大学デザインI類写真コース卒業。2006年文化庁新進芸術家国内研修員（東京藝術大学写真センター）、2012年公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員（インド）ほか。長崎県対馬を継続的に訪れ、民俗学のフィールドワークを下地に中判カメラによる写真撮影を続けている。最終的なプリントとして、写真古典技法であるブラチナプリントに箔や膠を融合させ、朝鮮半島との境界に根付く、神さびた風景を独自の技法で表現している。

山岸主計 (1891-1984)

【YAMAGISHI Kazue】

長野県上伊那郡美簗村（現在の伊那市）生まれ。15歳で上京し、木版彫刻家・武藤季吉に師事。読売新聞の挿画の木彫等を手掛け、1926年に文部省の委託を受け欧米の版画調査のために渡航。戦後は藤沢に移住し、藤沢市美術家協会に創立当初から参加するなど本市の文化振興に寄与した。



山岸主計《モンマルトル寺院》1928-31年頃

※掲載図版と出品作品は異なる場合があります。

関連イベント

担当学芸員による作品解説、参加アーティストによるワークショップ等のイベントを予定しています。詳細は藤沢市アートのウェブサイトを、SNSをご確認ください。

アクセス

【電車】JR辻堂駅東口改札北口出口より徒歩5分
【バス】神奈川中央交通バス停「神台公園前」下車すぐ
※アートのスペース専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

藤沢市アートのスペース Fujisawa City Art Space

〒251-0041 藤沢市辻堂神台2-2-2 ココテラス湘南6F

Tel.0466-30-1816 Fax.0466-30-1817

<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunka/FAS/>



このたび、展覧会「伝えたい情景」木版画家・山岸主計と現代作家たち」を開催します。

大正期から昭和にかけて活躍した藤沢ゆかりの木版画家、山岸主計（やまぎし・かずえ）は、著名な画家による絵や図案を木版彫刻する「彫師」として仕事を始め、やがて自分で描いた絵を自分で彫り、摺る「創作木版画家」として制作活動を行いました。その代表的な作品が、文部省嘱託として1926年から数年滞在した欧米諸国の風景をモチーフとした『世界百景』シリーズです。展示は二部構成をとり、2019年新規寄贈作品を中心に、彫師として携わった作品を前期、創作木版画家作品を後期で紹介いたします。彫師の経験と確かな技術が、山岸の作品制作にどのような影響をもたらしたのか、その核心に迫ります。

同時に紹介するのは、二人の現代作家の作品です。

内田亜里は、土地を取材しその土俗性や気配を感じさせる写真作品を古典技法を用いて手掛け、田中唯子は、世界情勢を反映したニュースや日常風景を切り取った画像などを元に一点物の版画作品を制作しています。

異なる時代を生きた三人の作家たちがとらえた「伝えたい情景」から、彼ら突き動かしてやまない創作への情熱を感じ取っていただければ幸いです。

